

いぬはりに

vol.

01



designer's voice

駒形克己インタビュー

**遊びから発見！
子どもの想像力**

Jakuetsu research

屋内でおこる
子どもの怪我の
原因は…!?

北欧だより

スローライフの国、
北欧の幼児教育style

駒形克己インタビュー

遊びから発見！ 子どもの想像力

国内はもとより、海外でも活躍中の造本作家・グラフィックデザイナー、駒形克己さん。オリジナリティーあふれる紙アートから世界各国で展開するワークショップまで、“駒形ワールド”はつねに注目の的。このたび、ジャクエツは駒形さんと業務契約を成立し、幼稚園・保育園に向け、KOMAGATA BRANDの商品開発に取り組んでいます。絵本作りのエピソードや、子どもたちへの思い、作品にこめたメッセージなど、駒形さんの“声”を届けます。



Katsumi komagata

1953年 静岡県生まれ。1977年 渡米。ニューヨークCBS本社、シエタグループなどで企業CIを主体とするグラフィックデザインを手掛ける。1983年 帰国。1986年 ONE STROKE設立。1992年 カード絵本「LITTLE EYES」全10巻(備成社刊)を発表。その後、「紙の絵本」「ミニブック」などのシリーズを、ONE STROKEより発刊。1994年 フランス、リヨンを皮切りに個展、ワークショップ活動を開始。1998年 ニューカレドニアにて「KOMAGATA WORLD」を開催。国内においても、1997年より、東京・こどもの城、その後全国各地を巡回。ニューヨークADC銀賞、バリ PRIZE FOR CREATIVITYなどを受賞。2000年 イタリア・ポローニャ国際児童図書展NEW ART特別賞、2002年 スイス国際児童図書賞 (F.E.E) 特別賞など受賞多数。



“ひとつがもうひとつに。”一枚の葉っぱをテーマに、小さかった葉が大きく成長して広がり、やがて枯れ、また新たないのちへと引き継がれる…、という生命の移り変わりを描いた本。「折ってひらいて」に続く、視覚障害者と健常者が共有できる本の二作目。

「Leaves」 駒形克己
(ポンビドーセンター刊) ¥5,775 (税込)

——絵本作りのきっかけは、お嬢さんの誕生だそうですね。

私自身、父親と生活する経験が少なかつたので、自分の子どもが生まれたときに、父親としてどう接していいものか、全くわかりませんでした。絵本の読み聞かせをしようと思ったところ、並んでいるのはどうも女性、母親が読むように作られた本ばかり。私が読み聞かせるには少し抵抗がありました。それなら、自分の手で娘と向きあうことのできるものを作ってみよう、と思ったのが「リトルアイ」シリーズ誕生のきっかけです。

——どんなふうに、赤ちゃんと向きあつたのですか？

何かを共有することが、私たち親子にとってコミュニケーションの第一歩でした。心掛けたのは、絵本などを見せるときのこちらの動きや話しかけのリズム。赤ちゃんと私、二人だけの心地よいリズムを感じることで、お互いを確認しました。また、赤ちゃんは、色の強いものに反応する傾向があります。でも、最初からほとんど見せていかないと、そうではないようです。娘が4ヶ月くらいの時、赤や黄色の色がはっきりした人形を見せたところ、びっくりしたように目を動かし、理解できずに泣き出したんです。それを見て、子どもの反応を大人が確認しながら、見せていく順番があることがわかりました。

——ワークショップで出会う、子どもたちの反応を教えてください

こちらが用意したちよっとしたヒン



トから、子どもたちの創作意欲はどんどん触発されていきます。たとえば、赤い三角の「のびるカード」。折り畳まれたカードを広げると赤い三角がバラバラになる、抽象的なものですが、それを何かに見立て、子どもたちは9色の色紙を切ったり貼ったり、発想力ゆたかに表現します。

—— 作品に使う「紙」へのこだわりは？

絵本には、さまざまな質感の「紙」を取り入れています。指先の神経で感じることを、小さいころからおぼえてほしいから。子ども向けだからといって、あえてやぶれにくい素材にせず、ものがこわれる、ということを学習するのも大事。乱暴にするとしわくちやになったり、破れるという「加減」を知ること。痛い思いをしなければ人の痛みもわからないことも同じです。

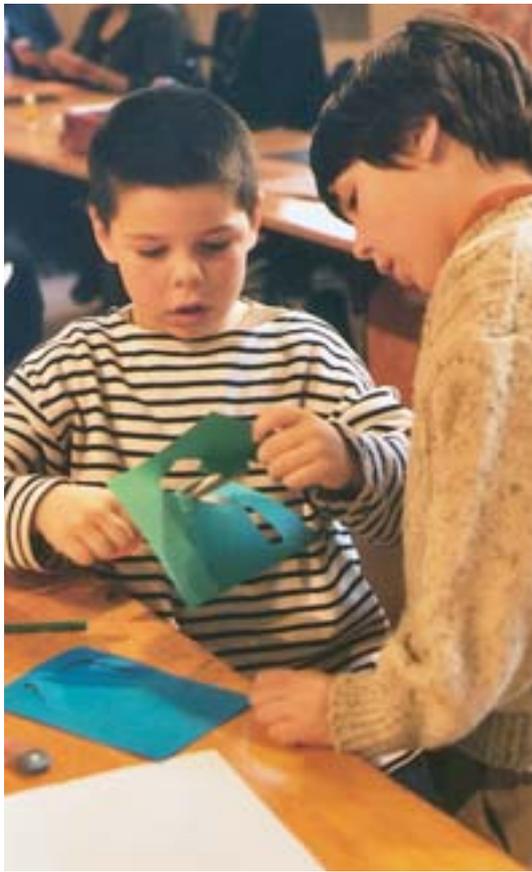
—— ニューヨークでの仕事経験は、絵本作りに影響していますか？

NYのCBSで仕事をしていたころ、私の英語力は、やはりネイティブのアメリカ人にはかなわない。そんな自分



POP SCOPEペンギン「LET'S WALK」／駒形克己
103×73cm
微妙な紙の色の重なりが作り出す、紙アートの3D作品。ペンギンたちの声や足音が聞こえてきそう…！

1994年、フランスのリヨンで開催した「1、2、3…KOMAGATA」展の会場から始まった、駒形さんのワークショップ活動。用意したのは紙とハサミとノリ、そしてヒントをちょっぴり。子どもたちの反応を見ながら、手探り状態でスタートし、さまざまな試行錯誤を経て、どの子どももみんな夢中になる、オリジナルのプログラムができました。



「指先の神経で感じることを 小さいころからおぼえてほしい。」

がプレゼンテーションで語らずとも成功するには、ビジュアルを工夫して視覚的に訴えかける方法が効果的でした。確かにその経験は、今の仕事に役立つているのかもしれない。絵本作りはエンターテインメント。自分が楽しくなくちゃ、相手を楽しませられないですからね。

——アイデアが生まれて、作品になるまでの期間はどれくらいですか？

子どもと向きあっている時などに、ふとアイデアが浮かび、とりあえずラフスケッチにかきとめ、箱に分類します。しばらくの期間しまっておき、あるときまた別な視点からこんなふうにしよう！とできあがることが多いです。もちろん、間を置かず、一気に仕上げる場合もありますが…。たとえば「なみだ」という絵本は、子どもを保育園

01



にむかえに行った時、娘が泣いているのを見て、本の構想を思いついたので、結果として四年がたってようやく完成したものです。

——視覚障害者向けの絵本にも取り組んでいらっしやいますね。

フランス国立近代美術館（ボンビドーセンター）のディレクターの依頼で、「折ってひらいて」を出版しました。最初にこの話がきたとき、どんな本をつくれればいいのか、全く心当りもなかったのですが、「視覚障害者と健常者がいっしょに共有できる本を作りたい」と言われ、それならできるとも思えない、と引き受けました。また、二作目「L'avesse」の試作ができたとき、盲学校の男の子にモニターとして読んでもらいました。すると、カタチの外側ばかり手でなぞって、中身はあまり



02



駒形克己さんおすすめの絵本

01 「リトル・アイ」

駒形克己 (偕成社刊)

¥1,890 (税込)

掲載図版は「①FIRST LOOK はじめてのかたち」

駒形さんの長女誕生をきっかけに作られた、0歳からの幼児に向けたカード絵本「リトル・アイ」シリーズ。一作目の「FIRST LOOK」は、丸や四角、三角といった基本的な「カタチ」を白と黒の2色だけを使ったシンプルな絵本。三つ折りになったカードを開いたり閉じたりして変化する形に、幼児の好奇心が刺激される。

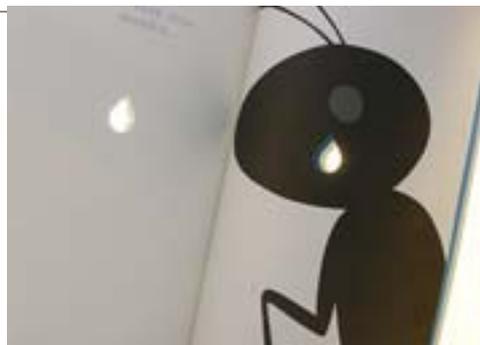
02 「ぼく、うまれるよ！」

駒形克己 (ONE STROKE刊)

¥2,415 (税込)

小さな生命の誕生を、お母さんのおなかの中にいる胎児の視点で描いた絵本。駒形さんが出産に立ち会った時、不思議に思ったという“へその緒”が、らせん状のしかけになって表現されている。

03



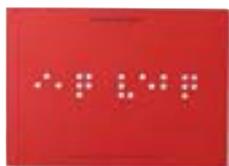
03 「なみだ」

駒形克己 (ONE STROKE刊)

¥1,470 (税込)

友だちとけんかした少女のなみだの行方は…？本の中の、切りとられた涙のカタチがとても印象的。駒形さんのお嬢さんのエピソードをもとに、構想から四年をかけて完成させた作品。

04



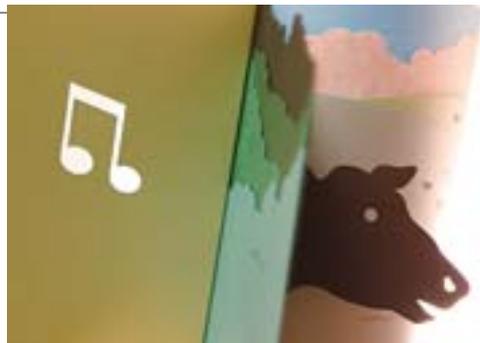
04 「折ってひらいて」

駒形克己 (ONE STROKE刊)

¥11,550 (税込)

フランス国立近代美術館 (ポンピドーセンター) の「視覚障害者と健常者がいっしょに共有できる本を」という依頼を受けて制作。表紙には、直径8ミリの穴で表現した、印象的な点字タイトル。ページを開くと、丸、三角、四角など一つの形が、伸びたり、縮んだり、広がったり、思いもよらない発見がある。

05



05 「かぜが はこぶ おと」

駒形克己 (ONE STROKE刊)

¥1,680 (税込)

風とともに運ばれてくるのは、鳥のさえずり、牛やアヒルの鳴き声、水の流れ、虫たちの動き、土のおいまで…。心がじんわり癒されながら、風とともにぼんやりしたくなる一冊。愛知県のごうぞう幼稚園、創立40周年の記念として手がけた絵本です。

さわらない。先生に尋ねると、まず外側を認識するように、と指導されているようです。そこで、外側からさわっても葉がはかなくていくようすがわかるようなくぼみをつけ、工夫しました。

——海外と日本の教育事情のちがいをどう考えていますか？

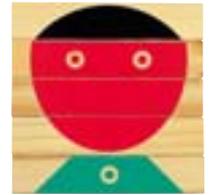
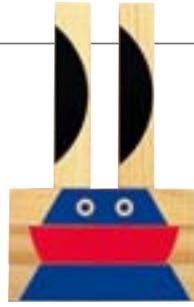
ヨーロッパは、子ども図書館や、ふつうの図書館でも児童書コーナーがとても充実しています。日本では親子や子どもが安心しておとずれることができる図書館や美術館が、まだまだ少ないですね。また学校では、先生たちも教える必要はないカリキュラムがたくさんあり、美術教育が減らされる傾向にあるのが現状です。でも子どもたちにとって、もっと対象物として向きあいつて、観察すること、モノをきちんとみること、素直に感じる心を養っていくことは大切だと思います。

——これから、ジャクエツといっしょに伝えたいことは何ですか？

私がジャクエツさんと契約しようと思った決め手は「トイレ」(笑)です。ある幼稚園で、ジャクエツさんの作ったトイレを見て、明るく健康的で、子どもたちが楽しく使用できる空間になっていて、とてもうれしかった。子どもにもまっすぐに向きあい、決して押し付けでなく、いいもの、いい環境を作っていくという会社の姿勢に共感しました。遊びの中で自然とルールを身につけたり、ちょっとしたヒントから想像力をふくらませて多くの発見をしたり、そんな商品作りをいっしょに手がけていきたいですね。



BLOCK'N BLOCK 5組 (25本) ¥19,530 (税込)



CLASS SIGN (13種類) 動物シリーズ：ウサギ、キリン、コアラ、リス/花のシリーズ：バラ、チューリップ、ユリ、サクラ、ウメ、モモ、キク、フジ、スマイル 各1枚 ¥262,500 (税込)



動物マット 左より ペンギン90 ¥15,750 (税込) / ペンギン150 ¥21,420 (税込) / ペンギン180 ¥24,780 (税込)

BLOCK'N BLOCK

箱の中には、一見、シンプルな四角柱の積み木が五本。それぞれの面を合わせると、まずは基本の三角、丸、四角、楕円のカタチができあがり。いくつかの見本の組合せを経験し、それから先は子どもたちの想像力にまかせましょう。BLOCK'N BLOCKには、楽しいアイデアやしかけがいろいろ。「何に見える?」「何ができる?」「積み木に描かれた、ユニークな目玉(?)のマークが、子どもたちの創作意欲をいっそうかきたてます。積み木をいろいろ組み合わせる、「見立て遊び」から、なんと百通り以上の人の顔、動物、昆虫、食べ物：どんどん出てくる!?

駒形さんが初めてこの商品の試作品を作ったのは今から九年前、1995年のこと。パリ・ルーブル美術館で開催された「MUSEUM EXPERIENCE」に出品され、優秀プロダクト賞を受賞しました。

今回、商品化する上でこだわったのは、素材。ポプラを採用したことで、軽くて柔らかく、子どもの手になじみやすい、ジャクエツじまんの知育玩具ができました。

動物マット(全4種類)

コンセプトは「遊びながらルールを学ぶ」こと。マットに描かれているのは、仲間同士で助け合い、子どもたちにとつてつねに安全なコロニーを形成しているペンギンのあたたかな世界。わざと余白を多く残したデザインには、理由があります。

「動物マット」は外と中との大切な境

界線。「あれダメ」「これダメ」「こうしなさい」では、子どもたちも息切れしそう。そんなとき「ペンギンをふまないように、クツをふきましよう」と、上手な言葉の投げかけを。子どもたちの中に遊び心が生まれ、自然にルールを理解していきます。

CLASS SIGN (13種類)

駒形さんがこれまで手がけてきた紙の作品を、教室のサインとして制作したもの。平面に見えるのにじつは奥行きがあり、紙の色の重なり合いと、そこに浮かび上がる立体感が、動物や花などそれぞれの存在感をアピール。駒形さんが得意とする紙アートの世界が、クラスごとの個性を作り出しています。

ライン(近日発売)

「子どもたちが主体性をもって、遊びの中からいろいろ発見できる環境を作りたい」

駒形さんが国内外で展開する展覧会「KOMAGATA WORLD」で、いつも大人気の「ライン」。その楽しさやおもしろさは子どもたちによって立証済みです。

遊び方はいろいろ。シンプルに引かれたラインをつなげていくと、さまざまなカタチが生まれます。表と裏の組み合わせワザを使えば、遊び方はさらに倍増!

ラインの表面は布製素材でくるまれ、中にはスポンジマットが入っていて、クッションのようなやさしい感触。16枚で1セット。オモテは赤、青、緑、オレンジが各4枚ずつ、ウラはすべて黄色です。



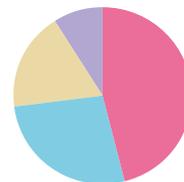
ライン (近日発売)

屋内でおこる、 子どもの怪我の原因は……？

屋外の公園などで、遊具による子どもの事故をよく耳にします。けれども、元氣いっぱいの子ども達が怪我をする場所は、屋外だけではなくあります。ジャクエツは屋内における事故にも着目し、よりよい環境作りへの取り組みを強化。220人の子どもたちが通う幼稚園を対象に、怪我の原因を調査しました。

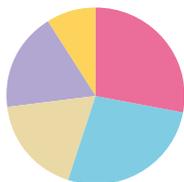


グラフ1



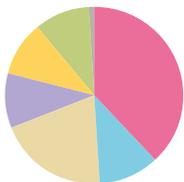
■朝の登園時間帯
■カリキュラムの時間帯
■給食の片付けの時間帯
■バスを待っている時間帯

グラフ2



■備品につまづいて
■友だちによる
■自分の不注意
■友達と遊んでいて
■遊具で遊んでいて

グラフ3



■椅子
■テーブル
■扉
■遊具の段差の角
■ロッカー
■シンクの角
■床

上記グラフは幼稚園の昨年1年間における屋内事故記録です。「怪我がおきやすい時間帯」(グラフ1)は朝の登園時間がダントツ。先生方は朝の準備で忙しく、子ども達の中にはまだ寝起き状態でボーッとしている子がいるなど、両者とも危険に対する注意力が最も低下する時間帯のようです。「ケガをした原因」(グラフ2)で目立つのは、備品につまづいたり、友だちとの接触で発生したものでした。備品につまづく場所の多くは、子どもたちの活動の中心となる教室です。教室は、廊下やホールなどに比べて備品の数が多く、のびのびと動けるスペースが比較的少ないことが関係しているのでしょうか。子どもが何かに夢中になっているときに、つい注意が散漫になり、椅子やテーブルなどの備品にぶつかったり、つまづいてしまうようです。もう一つの、友だちによるケガというのは、相手の存在に気がつかないでケガをさせてしまう場合がほとんど。遊びや何かに気をとられているときに、うっかり……といったケースです。また「転倒した時によくぶつかる」(グラフ3)のが椅子やテーブルというのは、教室内を占める備品の割合の中で一番多いことを考えればうなずけます。

こうした原因に対して先生方はケガの要因を少しでも減らそうと、子どもたちへ注意をうながしたり、体操の時間に転んだときに手でガードするような動きを取り入れる、備品と備品の間隔や配置を見直す、などさまざまな取り組みをされています。



■アール型乳幼児椅子(ブナ座板) 5歳児用

HHB0615 定価 ¥11,550 (税込)

サイズ 32×33.5×高さ51cm

座面までの高さ/29cm 重さ 1.8kg

■アール型スタッキングテーブル(大・キャスター付き)

HHA0200 定価 ¥68,250 (税込)

サイズ 126.6×75×高さ50.7cm

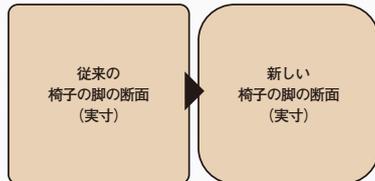
天板/120×75×厚さ1.5cm 重さ 15kg

※その他の詳細は2005・2006の総合カタログP146、P155に掲載しています。



R加工

■図1 従来の椅子の脚との比較



従来の
椅子の脚の断面
(実寸)

新しい
椅子の脚の断面
(実寸)



脚ゴム



積み重ね



背座面の間隔

また従来から、安全への配慮として積み重ねた時に垂直に重なり、安定した状態で倒れにくくなる工夫や、脚には滑り止めのゴムをつけて転倒防止対策を実施しています。また、目に見えないところでは、ホルムアルデヒドの放散量の低い材料を使用し、雑菌の繁殖を防ぐ抗菌加工も施しています。

子どもたちに安全な備品を。
幼稚園での事故調査から、教室内でおこるケガの原因に備品の存在が密接にかかわっていることを再認識し、乳幼児椅子シリーズの2005年度版は従来の基準を見直し、さらなる安全性を追求しました。従来の角の丸みを約1・5mmのRから約5mmのR(図1参照)まで大きくし、ぶつかったときの身体への衝撃がやわらぐように配慮。座面と背板の間隔も10cm未満(社団法人日本公園施設業協会/遊具安全基準案参照)とし、子どもの頭が入りにくいサイズにしました。

◎北欧だより

スローライフの国、 北欧の幼児教育style



「自分らしく、ゆったり過ごそう」
……豊かな自然と共存し、健康的で、
地域に根ざしたゆとりある生活を楽
しむことが上手な、北欧諸国の人々。
「北欧」というと、フィヨルドの景
観、森と湖、オーロラ、白夜など、
大自然の美しいイメージが浮かびま
すが、一方では、子どもや高齢者へ
の配慮や行政サービスが行き届いた
「福祉先進国」としても知られてい
ます。

現在、北欧と呼ばれている地域は、
デンマーク、ノルウェー、スウェー
デンのスカンジナビア三国に、フィ
ンランドとアイスランドを加えた五
カ国。冬が長く寒さも厳しい、日本
でいえば北海道と似た気候風土を持
っています。

北欧におけるチャイルドケアの現
場では、国によってさまざまな取り
組みを行っています。スウェーデン
における保育園と幼稚園の役割を担
う施設は、基本的に一本化
しており、公営または民営
です。園のオープン時間は、
月曜～金曜のAM6:30
～PM6:00頃まで。読
み書きや数などの学習は基
本的には行いませんが、日
常生活の基本、自然の大切
さ、友人関係、社会とのつ
ながり、遊びの大切さなど



写真/鈴木緑

はきちんと教えているのが特徴です。
また、共働き家庭の多いデンマーク
では、母親が妊娠すると、役所に行
って将来生まれる子どもを預ける施
設の予約をします。生後6ヶ月～3
歳までは乳児院や保育ママ(ベビー
シッター)などによるケア、3歳～
6歳の子どもたちは公営の保育園に
通うシステムです。保育園の定員に
空きがなく入れない子どもは、民間
の保育施設、保育ママ、職場の保育
所などがしつかりカバーします。ま
た、保育料や学費なども公費で負担
する割合が多く、国全体で子育てを
支援している意気込みが伝わります。
日本との幼児教育のちがいは？
一日のカリキュラムや遊びは？ 子
どもたちは何を食べている？
――
――次号の「北欧だより」から、北欧
諸国の保育園や幼稚園で生活する子
どもと先生たちの素顔をどんどん紹
介していきます。お楽しみに！

いぬはりこ掲示板

作家さんに聞いてみました

2004年もそろそろカウントダウン。クリスマスや冬休みをむかえると、気持ちも新たにリセットして、2005年のはじまりです。大好きな先生や友だちとむかえる新学期。子どもたちの園生活に欠かせない自由画、出席ノートは、みんなの大事な宝物。今回は2005年度新学期用品のイラストを彩るアーティストたちに、6つの質問をしました。

- 質問① 新学期用品のイラストを通して園児に伝えたいことは？
質問② イラストレーターになった理由を教えてください。
質問③ 何からインスピレーションを受けて、描くことが多い？
質問④ 幼稚園・保育園の頃の思い出は？
質問⑤ 園児におすすめの一冊は？
質問⑥ 幼稚園・保育園の先生方へ向けて一言メッセージを。

01 おのうえ稔さん

- ① いつまでも「やさしい心」と「ハッピーな気持ち」でいてほしいです。
- ② すでにもの心ついた頃から、天才的な（笑）絵の才能があったようです。
- ③ かわいいカードや絵本、奥さんの机にある作品から……（？）
- ④ 発表会用の大きな紙芝居の絵を描くとき、みんなに絵の指導をしていました（エッペン！）。でも、本番で一人ずつ短い話を読み上げる時に私だけ忘れてしまい、舞台から降ろされました（涙）。
- ⑤ 『小さなバツのおとこのこ』（世界文化社 貴乃花 光司（元横綱・貴乃花）＝著 そや なおき＝絵）。友情や勇気を出すことの大切さが描かれています。
- ⑥ 私のイラストを見て「かわいいですね」と喜んでいただくことが、何よりの心の糧と仕事の活力です。これからも創作がんばりますので、よろしくお願いします！



あゆみ（ワイド） ¥400（税込）

02 はらちえこさん

- ① 私の絵を見て、ケンカしたりケガして泣いていた子が“にこっ”、嫌なことがあってイライラしていた先生が“くすっ”と、幸せな気持ちになり、元気を出してくれたら嬉しいです。
- ② 人に夢を与える仕事、“歌手”か“絵描き”になりたいと強く思っていました。イラストを描ける仕事に就いた今でも、実は歌手になる夢も捨ててなかったりして…えへへ。
- ③ 宝塚歌劇です！自分自身が現実と離れ、どっぷりファンタジーの世界に浸り、幸せ気分の時に“キラッ”とアイディアが浮かびます。
- ④ 幼稚園に行くと貼ってもらえる、出席帳のシール。今みたいに色々な柄があるわけではなく、キラキラした星のシールなどでした。
- ⑤ 一人で読むにはむずかしいかもしれませんが『はしれ江ノ電ひかりのなかへ』（PHP研究所 金子章＝著 渡辺有一＝絵）です。命の尊さ、ひた向きさを教えてください。
- ⑥ これからも、楽しく可愛い絵を描くために一生懸命がんばります！



あゆみ（カラー） ¥360（税込）

03 宮尾怜衣 / Reimiさん

- ① 楽しんで、わくわくして、元気になって、やさしい気持ちになっていただけるとうれしいなあ〜と。
- ② 天職だったから…でしょうか？（笑）
- ③ 真っ白い紙。そこに次から次へと画像が浮かび上がってくるんですよ。
- ④ 男の子と泥だらけになって遊んでました。自分をぞろぞろとひきつれて歩いていた記憶が…！うちの母は、ものすごく絵が下手なので、私が絵が上手な子になるように念じていたそうで、私が絵を描くと、それはそれは幸せそうでした。
- ⑤ お母様やお父様の、思い出の本を。それを、お子様といっしょにスキップしながら読んであげるのが最高の一冊になると思います。
- ⑥ たくさん誉めてあげてください。お子様だけではなく、先生方のことも、お互い、いっぱい誉めあってください。私も、『絵上手いですよね〜』なんて誉められると、もっと上手く描けるようになるう！とがんばっちゃいます。（笑）



あゆみ（デラックス） ¥450（税込）

04 口コ・まえださん

- ① ウキウキして、何か楽しいことが起こりそうな気分になってくれたらなあ…と描いています。
- ② 小学生の頃、よくノートや教科書に食べ物（おにぎり、ドーナツ、おまんじゅうなど）の絵を描いて、“どうやったらおいしそうに見えるか…？”と努力したものです。思えばこれが、イラストレーターを志した原点かもしれません。
- ③ 幼い頃の記憶。たとえば、雑草の中にしゃがみこんで見渡した風景、雪をかぶった樹をのぞいて妖精を探したことなど…。
- ④ 母が専業主婦だったので、私はどちらにも通っていません。母を相手にままごとや保育園ごっこをしていました。
- ⑤ 『ねえ、どれがいい？』（評論社 ジョン・バーニング＝作 まつかわまゆみ＝訳）。子どもにさまざまなシーン（災害、食べ物など）での三択をさせるもの。ユーモアのセンスをみがいてくれます。
- ⑥ 私の子供（もう大人）もかつては保育園児。あの頃面倒をみて頂いた先生方を想うと、懐かしさがこみ上げます。多くの子供たちにとって、生涯、忘れられない存在となる先生方、毎日お疲れ様です。



じゅうが A4（みんなでおはなつみ） ¥300（税込）



5本の積み木から100通り以上の組み合わせ。

BLOCK'N BLOCK

ブロックン ブロック

ここに掲載されていない新しい組み合わせが出来た方は写真を撮って下記のアドレスまでご応募ください。
厳選な審査の上、優秀賞の方にはプレゼントを差し上げます。発表は次号にておこないます。ご応募お待ちしております。
shinagawa@jakuetsu.co.jp

ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

ジャクエツのマークは幼児の安全・安心をお約束する印です。